

ふちゅう

町議会だより

第167号

令和4年11月1日
広島県府中町議会



秋の実り！今年も大きく育ったの～

<目次>

- 令和3年度決算を認定……………2～3
- 9月定例会の概要・採決結果……………4
- 町政のここが聞きたい 一般質問
気象防災アドバイザーの活用は ほか……………5～11
- 常任委員会レポート……………12
- 町議会議長会研修会報告・議会の動き……………13
- 議会の新体制……………14



 / 府中町議会【公式】
9月定例会
YouTubeで配信中

※視聴環境により、通信料がかかる場合があります。

づくりを着実に推進



決算審査特別委員会

令和3年度歳入歳出決算を審査するため、9名の委員で構成する決算審査特別委員会（委員長・川上翔一郎議員、副委員長・児玉利典議員）を設置し、9月9日から20日までの日程で審査を行いました。

審査の結果、認定すべきものと決定し、定例会最終日の21日の本会議において、委員会報告のとおり決算を認定しました。

府中公民館等複合施設が完成

●歳入

令和3年度の一般会計の歳入は、前年度と比較して個人町民税が8742万円の減、固定資産税が8214万円の減、法人町民税が712万円の減となった一方、たばこ税は1197万円の増となり、町税全体では、1億5874万円減の71億9006万円となりました。町税以外の歳入では、国庫支出金は、前年度から大きく変化があり、37

億5538万円減の54億6160万円となりました。これは、前年度に住民1人当たり10万円を支給した特別定額給付金給付事業が実施されたためです。

歳入総額は10億8526万円減の216億9986万円です。

●歳出

新型コロナウイルス感染症への対応として、町民へのワクチン接種や子育て世帯、住民税非課税

世帯等への給付金の支給のほか、若者応援金事業など、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した総額2億8809万円の感染症対策及び支援事業が町単独事業として実施されました。また、林道をはじめ土木施設や農林業施設の災害復旧事業が行われ、平成30年7月豪雨による被災箇所の復旧が概ね完了するとともに、令和3年7月・8月豪雨の被災箇所についても速やかな復旧が図られました。その他、令和元年度に着工した府中公民館等改築事業が完了し、公民館・歴史民俗資料館等の複合施設として令和4年4月に開館しました。

歳出総額は、10億4093万円減の213億7543万円です。令和3年度実質収支※は2億9398万円となりました。

令和3年度 各会計決算額

区分	歳入総額	歳出総額	実質収支額
一般会計	216億9,986万円	213億7,543万円	2億9,398万円
特別会計			
土地取得	0万円	0万円	0万円
国民健康保険	44億6,051万円	44億1,677万円	4,375万円
介護保険	41億1,428万円	39億4,374万円	1億7,055万円
後期高齢者医療	8億1,356万円	8億650万円	706万円
合計	310億8,822万円	305億4,244万円	5億1,533万円

※実質収支額とは、歳入総額から歳出総額を引いた形式収支から、翌年度繰越財源を引いたものです。また、万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致していない場合があります。

コロナ禍でもまち

令和3年度決算を認定

審査過程における委員からの主な意見

決算の審査にあたり、委員から多くの意見がありました。主な意見として次の4つを委員会が報告しました。

1 徴税や保育料等に対し、ウェブ上で口座振替ができるシステムの導入は、支払いをする町民の負担を大きく軽減していると考えられる。今後も積極的に対象の拡大に努められたい。

2 人工芝となった揚倉山健康運動公園の多目的広場の利用が増加している。あわせて導入したインターネット予約システムの周知などを進め、施設の有効利用に努められたい。

3 頻発化・激甚化する災害への備えとして行う防災備蓄について、アレルギーを持つ人など、さまざまな人に配慮していることは評価できる。引き続き、計画的に進められたい。

4 町内事業者と地域の発展のため、府中町商工会との連携を密にし、その存在を活用して町内事業者の声を反映させ、事業者が活発化するような取り組みを充実・強化されたい。



揚倉山健康運動公園

令和3年度の主な事業

【新型コロナウイルス感染症関連】

◆若者応援金事業 2,956万円

19歳・20歳の人に対し「未来へはばたく若者応援金」(対象者1人当たり3万円)を支給。(支給件数970件)

◆妊婦特別定額給付金給付事業 3,602万円

妊婦が少しでも穏やかに過ごし、安心して出産を迎えることができるよう給付金(妊婦1人当たり5万円)を支給。(支給件数708件)

◆商工業支援事業 1億113万円

売り上げの減少した町内の中小事業者(127社)に応援金を給付。また、感染防止対策や新規事業展開等に必要な設備投資等の経費を助成。(201事業者)

【その他の主な事業】

◆小学校施設等改修工事 1億5,235万円

府中小学校の体育館、特別教室棟の屋根・外壁の改修工事及び府中東小学校のエレベーター増築工事を実施。

◆都市公園等長寿命化改修事業 1,540万円

下榊公園・山越公園に新しい複合遊具を設置。

◆府中公民館等改築事業 12億526万円

府中公民館・歴史民俗資料館・消防団第1分団詰所を兼ね備えた複合施設の改築工事と歴史民俗資料館の展示制作。(令和4年4月開館)。



歴史民俗資料館の展示

9月定例会

令和4年第3回定例会を13日間の会期（9月9日～21日）で開催し、町提出議案13件の審議と一般質問、議長、副議長等の役員改選を行いました。定例会では、決算審査特別委員会を設置して付託審査とした令和3年度歳入歳出決算を含むすべての議案を原案どおり可決しました。

※議会の新体制は裏表紙。

一般会計補正予算 主な事業

※万円未満を四捨五入しています。

町民生活支援クーポン券

1億5,945万円

昨今の物価高騰の負担増に対する支援として、町民1人当たり2500円のクーポン券を給付します。

※12月中旬発送予定。



運送事業者への燃料価格高騰対策支援

1,037万円

原油価格の高騰により燃料費等が増加し、著し

く影響を受けている運送事業者（トラック運送業・タクシーなど）に燃料購入費用の一部を助成します。

高齢者福祉施設、障害者福祉施設、保育施設への原油価格・物価高騰対策支援

3,915万円

原油価格・物価高騰に伴う負担増に対して、安定的に事業を継続するための支援金を支給します。

定例会の採決結果

◆全会一致で決定したもの

議案	結果
令和4年度府中町一般会計補正予算（第4号）	可決
令和4年度府中町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
令和4年度府中町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
令和4年度府中町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
令和4年度府中町下水道事業会計補正予算（第1号）	可決

議案	結果
府中町附属機関設置条例の制定について	可決
府中町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決
人権擁護委員の候補者の推薦について	適任
令和3年度府中町歳入歳出決算の認定について	認定
令和3年度府中町下水道事業会計決算の認定について	認定
府中町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決
監査委員選任の同意について	同意

◆賛否の分かれたもの

※○：賛成、×：反対、欠：欠席、議長は裁決に加わりません。

議案	府中町議会町政調査研究グループに対する政務活動費の交付に関する条例の一部改正について（概要）年度途中の支給や用途項目に関する規定を加え、機会及び対象の拡大を図るもの																	
	川上	宮本	西山	狩野	坂田	田中	山口	二見	梶川	西	寺尾	力山	三宅	齋藤	益田	橋井	児玉	木田
結果	○	○	○	欠	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○
可決	○	○	○	欠	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○

○賛成討論	寺尾議員 政務活動費の対象の拡大は、議員活動の活性化に資するもので、一歩前進と理解している。次の段階として、用途基準の具体化や運用の明確化、用途の公表など、他自治体事例も参考に透明性確保の議論を進めていく必要がある。	×反対討論	田中議員 提案内容のうち、要請・陳情活動費への用途の拡大は、透明性確保の取り組みとともに進められるべきで、一方のみを盛り込むことは問題がある。その他にも、用途項目として盛り込まれていないものがあるため、再検討して提案すべき。
-------	--	-------	--

町政のここが聞きたい

一 般

質 問

町行政全般に対し、14件の一般質問が12人の議員から提出され、町執行部の所信をただしました。

※各議員の質問欄に掲載しているQRコードから、質問の録画映像がご覧になれます。

INDEX

もくじ

P5 橋井 肇 議員
・気象防災アドバイザーの活用について

P6 児玉 利典 議員
・会計年度職員（月額）の再度任用上限回数撤廃について
二見 伸吾 議員
・生き生きと働くことのできる府中町役場のために

P7 寺尾 光司 議員
・広島都市圏の発展に寄与できる市制移行について
梶川 三樹夫 議員
・災害対策及び地域防災力の強化について

P8 西 友幸 議員
・地域の身近な相談相手「民生委員・児童委員」の活用と支援について

P8 木田 圭司 議員
・コロナ禍における生活困窮世帯など子どもたちへの学習支援の取り組みについて

P9 力山 彰 議員
・有害鳥獣の捕獲状況について
宮本 彰 議員
・障害者の雇用促進施策について

P10 田中 伸武 議員
・「黒い雨」被爆者援護について
川上 翔一郎 議員
・子どもの予防的支援構築事業について

P11 齋藤 昇 議員
・自殺予防について

問 気象情報の収集については、正確かつ迅速に情報を得られるよう、広島地方気象台とホットラインを構築しています。また、気象防災アドバイザーは、地域の気象と防災業務に精通し、自治体の防災対応を支援できる人材として気象庁が委嘱する専門家です。現在、県内にはアドバイザーは2名いますが、いずれも自治体に常駐して支援することは難しい状況と伺っています。

問 激甚化・頻発化する自然災害への対応として、気象に関する高度な知識を有する気象防災アドバイザーの活用は大変有意義だと考えます。町として活用する予定はありますか。

問 気象庁によれば、常駐による支援のほか、期間限定の支援や研修、講演会での講師など、さまざまな形で支援が可能です。そうした活用はできませんか。

答 県内のアドバイザーも、職員研修や出前講座の講師などの活動をしています。今後、他の自治体の事例等を参考に、町の防災に活用できるか調査研究したいと考えます。



橋井 肇 議員

答

他自治体の活用事例を研究

問

気象防災アドバイザーの活用は



気象防災アドバイザー
にお任せください！

気象庁
Japan Meteorological Agency

気象に関する豊富な知識の活用を期待



児玉 利典 議員



二見 伸吾 議員

答

適切な採用方法を研究検討

問

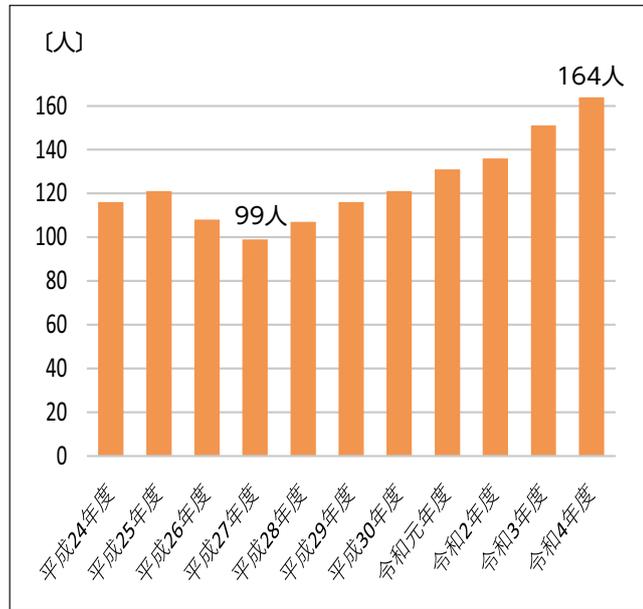
会計年度任用職員の選考は



児玉 議員



二見 議員



会計年度任用職員（嘱託職員）数の推移

児玉・二見議員
問 会計年度任用職員は、職場で一定の評価を得ていても、5年目に実施される採用試験により雇用が切れてしまうことに不安を抱いています。試験ではなく、

答 会計年度任用職員は、公募を行ったうえで試験を行い、通常1年を勤務実績によって選考してもよいという国会答弁もあり、勤務実績に基づく選考とする考えはありませんか。

任期に採用しています。ただし、本人が希望し、勤務成績が良い場合は、最大4回まで試験を課さず、評価を基に再度任用しています。

「任用の機会均等」「任用の公平性」の観点から、全国約8割の自治体でこうした回数制限を設けています。

町としても、現時点において回数上限の撤廃や、5年目での勤務実績に基づく選考を行う予定はありません。

その一方、経験を積んだ会計年度任用職員は、行政サービスを提供するうえで、必要な存在です。そうした職員が不安を抱いていることを重く受け止め、現在の運用を開始して約20年が経過していることも考慮し、周辺自



職員の相談にきめ細やかに応じる

治体の状況も参考に、より適切な採用方法を研究検討します。

二見議員
問 常勤職員は働き過ぎが問題です。人としての限界を超えて働くことによる健康障害が起っています。通算1週間以上の病休・休職者は、平成24

度、14人（3年度）と年々増え、今年度は8月5か月で、すでに19人となっています。メンタル不調で休職している人も令和元年度から9人、12人（2年度）、14人（3年度）と増加。今年度は4月8月の5か月で、すでに19人となっています。メンタル不調で休職している人も令和元年度から9人、12人（2年度）、14人（3年度）と増加。今年度は4月8月の5か月で、すでに19人となっています。

答 町では毎年度、各部署から翌年度の新規事業や業務の多寡、職員の勤務状況などを聞き取り、その内容を基に新規採用者数や人員配置を決定します。また、令和3年度に早期退職者が多発したことを受け、今年度は中途採用を行います。

現時点で大幅に職員を増加させる予定はありませんが、業務量の変化に対応した職員の加配や働き方改革につながる新技術の活用など、可能な範囲で丁寧に対処していきます。

月までで12人です。また定年前に退職した職員は、この10年間3〜5人でしたが、令和3年度は9人です。多忙の原因は仕事量の増大にあり、解決するためには、それにみあった人員増、常勤職員を大幅に増やすことが不可欠と考えます。町として常勤職員を増やす考えはありますか。



寺尾 光司 議員

問 市制移行への考えは

答 現在のまちづくりに注力



問 府中町の現状は、民間が行った居住満足度調査において県内第一位となるなど、まちづくりが高い評価を受けており、また広島広域都市圏でも、その位置役割がとて高くなっていると感じています。

答 町の魅力を広くアピールするとともに、都市圏の発展に寄与していく方法として、市制移行が最も効果的な方法と思いますが、町長の考えを伺います。

答 当町の市制移行等については、過去、町民の皆様への意向調査、アンケート調査、住民投票など、さまざまな議論や出来事がありました。また、単独市制は、町民の最多意見ではありませんでした。また、



まちづくりの土台となる総合計画

市としての要件を規定した広島県条例の中にクリアしていない事項が現在でもあり、当時と変わりありません。自治のあり方の一つに市制があり、その点は引き続き調査研究したいと考えます。しかし、市制移行のみがまちの魅力向上や発展、また都市圏への貢献の手法とは考えていません。町としては、第4次総合計画を土台とし

て現在進めているまちづくりに注力したいと考えています。

※広島広域都市圏 広島市を中心に、日常生活や経済的なつながりが強い28市町で構成する圏域。

その他の質問

・ストレスチェック制度を活用した職場環境改善の取り組みについて



梶川 三樹夫 議員

問 災害対策・地域防災力強化は

答 地域防災力の強化に努める



問 平成30年7月豪雨災害の経験を生かした計画的な災害対策と地域防災力の強化が求められています。現在進めている取り組みのうちハザードマップの作成状況を伺います。

答 現在、インターネット上に公開するハザードマップの作成を進めており、令和5年1月完成予定です。今後は、制度改正などがあつた場合でも、随時最新情報の提供が可能となります。また外出先からでも、スマートフォンなどで避難場所や周囲の安全エリアを簡単に確認できます。

問 防災リーダー育成の状況は。

答 現在は、主に防災士の資格取得を勧めるため、受験料などの補助を行っています。今後は、防災訓練の指導や研修会講師など、地域の防災リーダーとして活躍頂けるよう育成したいと考えています。

問 備蓄倉庫の計画は。

答 令和3～6年度にか



小学校での防災出前講座

答 現在は、主に防災士の資格取得を勧めるため、受験料などの補助を行っています。今後は、防災訓練の指導や研修会講師など、地域の防災リーダーとして活躍頂けるよう育成したいと考えています。

問 地域防災力の強化に向けた町民向け講習会の計画は。

答 8月までに13回の講習会を行い、9月以降も6回予定しています。今後もこうした機会を多く設け、地域防災力の強化に努めます。



西 友幸 議員

問 民生委員の現状と支援は

答 委員の負担軽減に取り組む



問 困りごとなどの身近な相談相手として、町民と行政、専門機関をつなぐ役割の一翼を担っているのが民生委員・児童委員です。委員には担当地区が割り当てられていますが、9月現在で8つの地区で欠員が生じています。地域においても、引き

受け手の確保に苦勞されていると聞いていますが現状を伺います。

答 民生委員・児童委員の定員は110名で、現在99名に委嘱しています。担い手不足もあり、定員の確保が困難な状況が続いています。こうした中でも、各委員は多岐にわたる相

談に対して、行政をはじめ、適切な支援やサービスへのつなぎ役としての役割を果たしています。

問 活動への支援状況は

答 情報共有・意見交換の場として、毎月1回地区ごとの定例会を開催し、各地区の合同会議や委員が一堂に集う交流会を年1回開催しています。

県の協議会が主催する各種研修への参加や講師を招いた講演会などを実施し、スキルアップを図っています。あわせて、活動に必要な交通費等の経費支給や委員を補佐する協力員制度を設けるなど、活動の負担軽減につながる支援にも努めています。



木田 圭司 議員

問 生活困窮世帯の学習支援は

答 経済面を含め総合的に支援



答 広島市の事業や県のひとり親家庭向けの事業を活用するなど、近隣自治体等と連携した取り組みを行っています。

問 施設や経済面での支援状況は

答 施設としては、児童センターの集会室を学習室として利用できるようにしています。また経済的支援として、ひとり親家庭向けの小中学校入学祝金事業といった、これまでの事業に加えて、臨時特別給付金など、コロナ禍を踏まえた国、町のを踏まえた国、町のさまざまな給付事業を通じて、子育て世帯を支援しています。



児童センター（集会室）を学習室に

問 コロナ禍が長期化する中、生活困窮世帯などへの暮らしの影響を軽減する取り組みの重要性が高くなっています。町内の生活困窮者世帯の状況は。

答 生活保護世帯は、令和4年4月現在370世帯で、コロナ禍前と比べて微増で、保護申

請も増加しています。また、資金貸付制度（緊急小口資金・総合支援金）の利用も多いことから、影響が続いていると見込まれます。

問 影響が長引く中、子どもの学習面への影響を少なくすることも重要です。学習支援などの取り組み状況は。



担い手の確保が急務



力山 彰 議員

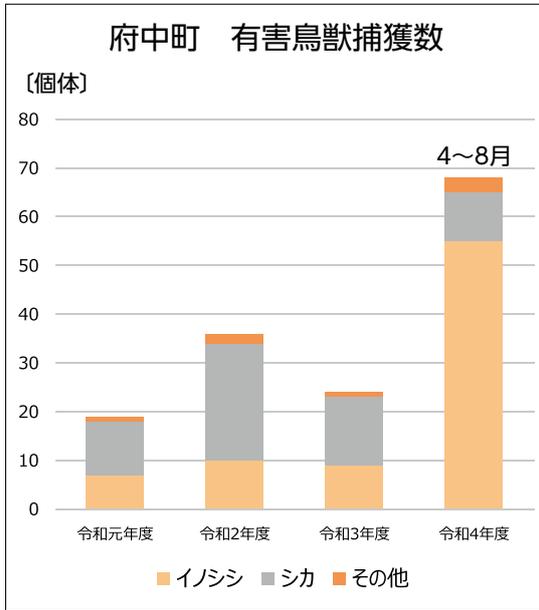
問 有害鳥獣の捕獲状況は

答 過去最高になると予想



問 シカやイノシシなどの有害鳥獣による被害が増大し、人間に危害を及ぼす可能性も高くなっています。町は、昨年度箱ワナの数を増やし、また捕獲体制を変更して今年度から本格的に運用開始しましたが、その効果は。

答 箱ワナは、「府中町有害鳥獣捕獲対策協議会」が所有しており、現在15基あります。その購入には、町の「鳥獣被害防止総合対策交付金」が活用されています。有害鳥獣の捕獲数は、令和4年度8月末までイノシシ55頭、シカ10頭、その他3の68個体です。8月には、イノシシ41頭を捕獲・駆除するなど成果を上げており、平成13年度



捕獲体制が整い、大幅に増加

からの20年間で過去最高の捕獲数になると予想しています。令和3年度下期から箱ワナによる捕獲・駆除を強化するため、箱ワナの管理をきめ細やかに実施できるよう委託に切り替えて体制を整えたことが要因です。

問 捕獲した有害鳥獣の

処分は。

答 広島県内において、5市1町が食肉加工施設を設置していますが、町では現在、そうした取り組みの予定はありません。民間事業者や他市町との連携により実施が可能なか、調査研究を進めます。



宮本 彰 議員

問 障害者の雇用促進施策は

答 連携して支援を進める



問 府中町の福祉施設利用者からの一般就労移行者数は。

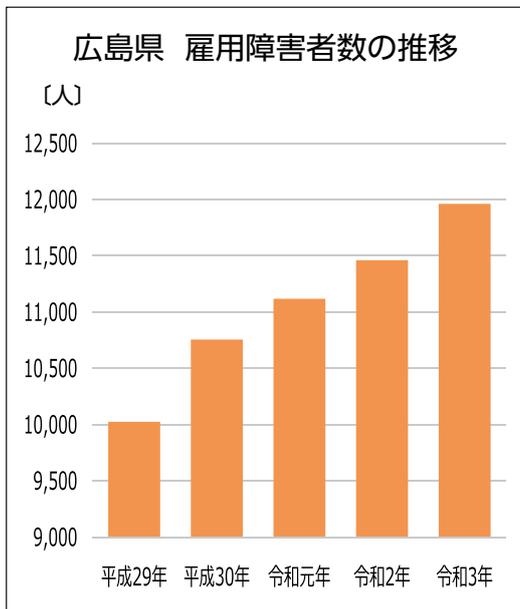
答 令和元年度末の実績は6人、令和2年度8人、令和3年度12人です。そのうち、就労移行支援事業からの一般就労移行者数は、令和元年度5人、令和2年度6人、令和3年度7人と多くを占めています。計画での伸び率の目標は、令和元年度比で福祉施設利用者からの一般就労移行者数が1.5倍、就労移行支援事業からの一般就労移行者数が1.4倍で、令和3年度においてはどちらも達成していません。

問 障害者の就労能力や適性を客観的に評価し、

最も適した就労系障害福祉サービスへ移行させる方法は。

答 障害者が、それぞれの働く場で安定して働き続け、働く力を伸ばしていくためには、各個人の就労能力や生活状況をよく踏まえる必要があります。そのため、関係機関が連携した支援、具体的に

的には相談支援事業所による「サービス等利用計画案」の作成、就労移行支援事業所による就労アセスメント、就労支援事業所による「個別支援計画」の作成、安定就労に向けた生活面や就労能力の向上に向けた支援などにより、円滑な移行を進めていきます。



県内でも広がる障害者雇用



田中 伸武 議員

問 黒い雨被爆者援護の状況は

答 申請の周知を継続して行う



令和4年度 黒い雨体験者相談・支援事業

原子爆弾投下直後に降った黒い雨により、現在も健康に不安をお持ちで、ご希望の方について、保健師や医師、臨床心理士が相談に応じます。



対象となる方

被爆者健康手帳又は第一種健康診断受診者証の交付を受けていない方で、広島県等が被爆地域の拡大を求めた次の地域内において原爆投下直後に黒い雨を体験し、現在も健康不安をお持ちの広島県内（広島市を除く。）にお住まいの方

対象となる地域



町内全域が対象地域に



川上 翔一郎 議員

問 予防的支援構築事業の状況は

答 国レベルの課題解決を探る



に分類されます。被爆者健康手帳の交付状況としては、直接被爆の人が最も多くなっています。「黒い雨」エリアの被爆者推定については、広島県でも地域別の算出はされておらず、また被爆後は多くの人が地域を越えて移動されていることもあり、地域別の算出は困難と思われる。

問 未申請の掘り起こし、申請の支援、周知は

答 広報ふちゅうで申請を呼び掛けています。引き続き、周知していきます。

その他の質問

・永田池の廃止事業について



問 「黒い雨」被爆者健康手帳交付に関する広島高裁判決を受け、今年4月から制度が拡充され、町内全域が援護対象区域となりました。町内の健康手帳保持者、新基準による手帳申請者数、交付者数やその内訳は。

答 町内の被爆者健康手帳保有者は、令和4年3月末時点で1360人です。広島高裁判決後は、令和3年度26件、令和4年度23件（8月末時点）の申請があり、令和4年4月1日付けの被爆者健康手帳を17人に交付しています。

問 町内の被爆状況と「黒い雨」被爆の状況推定者数は。

答 被爆状況は、直接被爆、入市被爆、救護等による被爆、胎内被爆

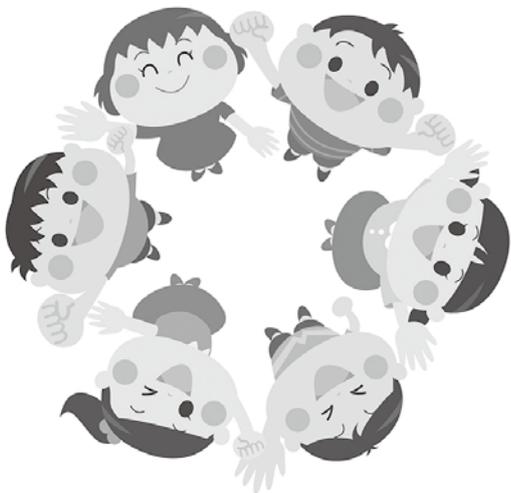
問 府中町の子どもの予防的支援構築事業が、デジタル庁の「こどもに関する各種データの連携による支援実証事業」に採択されました。実証事業を通じて、町が目指すことは。

答 多くの個人情報を収集することになります

答 使用するタブレットの2要素認証やアクセス範囲を限定した運用を行い、慎重に事業を進めています。また法的な取扱いについても、国と協議していきます。

問 国のモデル事業に応募した経緯と今後のスケジュールは。

答 子どもの予防的支援構築事業は、令和元年度から広島県のモデル事業として実施してい



すべての子どもたちが心身ともに健やかに育つことを目指して

問 府中町の自殺の防止対策は。

答 平成31年3月に、ともに支え助け合い誰も自殺に追い込まれることのない町をめざして「いのち支える府中町自殺対策行動計画」を策定し、計画に沿って、事業を進めています。

主には「相談事業」「啓発事業」「ゲートキーパー研修会」の実施です。福祉課と健康相談窓口に「こころの相談にあたっています。令和3年度の各課の相談件数は、福祉課が1375件（自殺関連相談件数2件）、健康推進課が11件（同1



齋藤 昇 議員

答 相談と啓発の両面から

問 自殺防止対策は

件)でした。

誰もが相談できるように、相談窓口の周知とともに、9月の自殺予防週間及び3月の自殺対策強化月間に合わせ、「啓発事業」も実施しています。今年は、身近な相談窓口や連絡先などを記載した自殺対策啓発カードを作成し、公共施設等で配布する予定です。

また、自殺対策を支える人材育成の推進のため、町職員の「ゲートキーパー研修会」を毎年開催しています。「ゲートキーパー」は、「命の門番」ともいわれ、自殺のサインに気づき、適切な対応を図ることができる人のことです。令和3年度末で、職員の60%が受講しています。

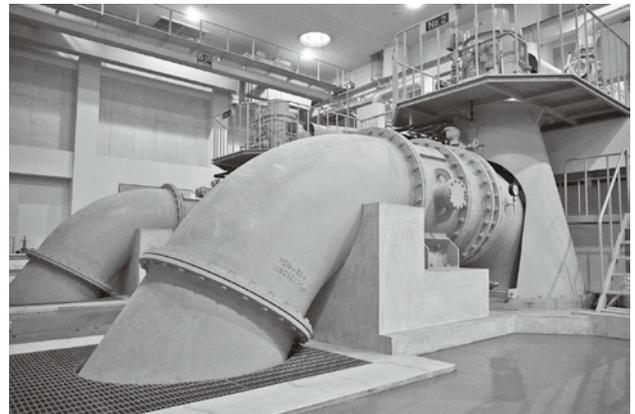


決算審査特別委員会 現地踏査 府中ポンプ場を視察

9月16日、決算審査特別委員会の委員9人が令和3年度事業における主要箇所として「府中ポンプ場」の踏査を行いました。現地では、令和3年度に実施した電気設備更新工事の内容と、府中ポンプ場の役割について説明を受けました。

◆用語解説「ポンプ場の役割」

河川より低い土地に降った雨水等を集め、それを汲み上げて河川に強制排水するための施設で、大雨時などには大きな役割を果たします。なお、府中ポンプ場は、府中大川へ向けて排水しています。



担当者に工事内容について質問する委員



委員会レポート

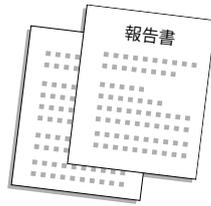
3つの常任委員会(総務文教・厚生・建設)の活動状況を報告します。

総務文教委員会

教育委員会の事務の点検・評価報告書を受領

◆第4回委員会(8月29日開催)

●教育委員会の事務について点検・評価した「令和3年度教育委員会事務点検・評価報告書」について



▲町HPでも公開

◆第5回委員会(9月21日開催)

●委員長の互選について
委員長に山口委員を選出。
●副委員長の互選について
副委員長に寺尾委員を選出。
●閉会中の継続調査申し出について

広域行政、組織、条例、財務、選挙、重要施策、防災、消防、学校教育、社会教育等に関する事務調査を、閉会中も継続調査するものとして決定。

厚生委員会

「くらしと自立支援センター」の開設について説明

◆第5回委員会(8月30日開催)

●生活困窮者等の支援強化のため、新たに開設する「くらしと自立支援センター」について
※令和4年9月1日開設済。
(愛称「くらしフレ」)

●下水道整備工事契約の締結について

◆第6回委員会(9月21日開催)

●委員長の互選について
委員長に木田委員を選出。
●副委員長の互選について
副委員長に狩野委員を選出。
●閉会中の継続調査申し出について

社会福祉事業と生活環境に関する事務調査を、閉会中も継続調査するものとして決定。

建設委員会

土地区画整理事業の工事請負契約の変更について報告

◆第4回委員会(8月31日開催)

●向洋駅周辺土地区画整理事業の画地整備に関する工事請負変更契約の締結について

◆第5回委員会(9月21日開催)

●委員長の互選について
委員長に力山委員を選出。
●副委員長の互選について
副委員長に川上委員を選出。
●閉会中の継続調査申し出について

建設事業、都市計画、山陽本線連続立体交差及び向洋駅周辺再整備事業に関する事務調査を、閉会中も継続調査するものとして決定。



※画像は、県HP連立事業完成予想図。

議会用語の基礎知識②

決算審査特別委員会



◆決算審査とは？

決算とは、一会計年度の歳入歳出予算の執行が実際にどのように使われたのかを示す計算書です。予算の執行が、その趣旨と目的にかなっているのか、適切な経費であったか、どのような効果があったのか、などについて審査します。言い換えれば、町民のみなさんのためにどのような仕事をしたのかを財政から検討することです。

◆決算審査特別委員会

府中町議会の場合、例年は9月(議会議員選挙のある年は12月)に開かれる定例会で決算審査特別委員会が設置され、議案が付託されます。委員は議員の半数9人で構成します。審査結果は本会議に報告され、本会議の議決により決算認定が行われます。

◆決算は次の予算のため

予算執行の検証を目的とする決算審査ですが、審査の結果や委員から出された意見を町が今後の予算編成と財政運営に生かす、という点からも重視されるべきものです。また、議会の決算審査を通じて、町民のみなさんに町財政の実態と議会の態度を知らせるという意義もあります。

広島県町議会議長会議員研修会

「前例より前進」今、求められる議会改革」



感染対策を行いつつ、研修を受ける各議員



講師を務めた、ピアンキ・アンソニー市議会議員

8月26日、メルパルク広島で開催された、広島県町議会議長会主催の議員研修会に参加しました。広島県内の町議会議員が一堂に会した研修は、新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催でした。

愛知県犬山市議会で議長も務められたピアンキ・アンソニー議員を講師に迎え、「前例より前進」今、求められる議会改革」と題して、議会の機能向上を目的に、犬山市議会で取り組んでいる事例が紹介されました。

(紹介事例)

・議員間討議

・市民フリースピーチ制度

※犬山市議会の議会改革の取り組みは、同市のホームページでも紹介されています。

「犬山市議会」

議会改革の主な取り組み



表紙の紹介



山田地区にある、町内唯一のぶどう園です。ご存知の方は少ないかもしれませんが、隠れた穴場です。贈答用と直売のみで、ぶどう狩りはできませんが、シャインマスカットや藤稔（ふじみのり）など、工夫と丹精込めて作られたぶどうは絶品。

ぶどう好きにはたまりません。※今シーズンは終了しています。



議会の動き

7月

6日 議会報特別委員会

13日 議会報特別委員会

8月

26日 広島県町議会議員研修会

29日 総務文教委員会

30日 厚生委員会

31日 建設委員会

9月

7日 議会運営委員会

8日 議会報特別委員会

9日～20日 決算審査特別委員会

9日～21日 9月定例会

21日 総務文教委員会、厚生委員会、建設委員会、議会報特別委員会

議会の新体制を決定

議長に 梶川 三樹夫 議員 副議長に 二見 伸吾 議員を選出



二見 伸吾 副議長



梶川 三樹夫 議長

9月定例会最終日の21日、議長などの役員改選が行われました。その結果、議長に梶川三樹夫議員、副議長に二見伸吾議員が当選しました。任期は、申し合わせにより議長は2年、副議長は1年です。なお、議長選挙前に所信表明会の開催を求める意見もありましたが、賛成少数となりました。

また、あわせて改選された各常任委員会や特別委員会の委員は、次のとおりです。

<p>○議会運営委員会</p> <p>委員長 西友幸 副委員長 西友幸 委員 川上山 翔一郎 委員 山口 晃 委員 力山 彰 委員 益田 芳典 委員 児玉 圭司 委員 木田 圭司</p>	<p>○建設委員会</p> <p>委員長 川上山 翔一郎 副委員長 坂田 栄一 委員 川上山 翔一郎 委員 二見 伸吾 委員 三宅 健治 委員 益田 芳典</p>	<p>○厚生委員会</p> <p>委員長 木野圭司 副委員長 狩野 雄二 委員 宮本 彰 委員 西山 優 委員 西山 優 委員 齋藤 昇</p>	<p>○総務文教委員会</p> <p>委員長 山尾晃司 副委員長 寺中 光司 委員 田中 伸武 委員 梶川 三樹夫 委員 橋井 健治 委員 児玉 利典</p>
--	--	---	--

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は12月上旬の予定です。



事前申し込みは不要です。
ぜひ、お気軽にお越しください。

<p>○広島県後期高齢者医療 広域連合議会議員</p> <p>木田 圭司</p>	<p>○監査委員</p> <p>児玉 利典</p>	<p>○災害対策特別委員会 (議員全員で構成)</p> <p>委員長 齋藤 昇 副委員長 坂田 栄一</p>	<p>○議会報特別委員会</p> <p>委員長 橋井 健治 副委員長 三宅 健 委員 西山 優 委員 西山 晃 委員 二見 伸吾 委員 齋藤 昇 委員 児玉 利典</p>
---	----------------------------------	---	--

9月から議会報特別委員会のメンバーが入れ替わり、新しくスタートいたしました。この府中町で暮らす皆様の何気ない日常の疑問や要望を反映できるよう新委員一同取り組んでまいります。

(橋井 肇)

編集後記

映画「この世界の片隅に」は世界の片隅で賢明に生きる庶民の姿を温かく描き、国内外の映画祭で高い評価を受けました。戦争をテーマにした作品は暗い話になりがちですが、戦時下で暮らす人々の何気ない日常がていねいに、暖かなタッチでつづられた心がほっこりするアニメです。ご覧になられた方も多くと思います。